

安土に響く

AZUCHINIHIKUIKOKUNOSENITSU

異国の旋律

「 織田信長公も聴いたかもしれない音楽で450年を遡る 」

織田信長が安土のセミナリヨで西洋音楽を聴いたという史実をもとに、当時の音楽と歴史の物語をたどるコンサート。古楽演奏の第一線で活躍し、国内外で高い評価を受ける「アントネッロ」が出演。歌と古楽器が織りなす豊かな響きとともに、450年前の“異国の旋律”へと誘います。

2026 11/8 [日]

14:30 開場 15:00 開演

出演：古楽アンサンブル《アントネッロ》

濱田芳通 (リコーダー)

伊藤美恵 (バロックハープ)

中山美紀 (ソプラノ)

石川友香理 (オルガン)

中嶋俊晴 (カウンターテナー)

立岩潤三 (パーカッション)

プログラム

- J. Des Prez: Mille Regretz (千々の悲しみ)
- 不詳: La tricotea (ラ・トリコテア)
- 不詳: Não tragais borzeguis pretos (漆黒の南蛮履)
- D. Pisador: La mañana de San Juan (聖ホアンの朝) 他

※曲目は予定のため、変更になる場合があります



チケット
〈全席指定〉

一般: 4,000円 ペアチケット: 7,500円

※ 当日500円増し ※ 友の会会員1割引
※ 未就学児の入場不可

友の会先行発売 8月5日(水) / 一般発売 8月8日(土)

会場・お問合せ
チケット取り扱い

安土文芸セミナリヨ

〒521-1321 滋賀県近江八幡市安土町桑実寺777番地 <http://www.bungei.or.jp/>

【TEL】0748-46-6507 【FAX】0748-46-6510 【E-mail】bungei@bungei.or.jp



濱田芳通 (リコーダー)

我が国初の私立音楽大学、東洋音楽大学(現東京音楽大学)の創立者を曾祖父に持ち、音楽一家の四代目として東京に生まれる。リコーダーとホルンのヴィルトゥオゾとして唯一無二の存在感を放つ。指揮者としてはバロック・オペラやオラトリオを精力的に上演しており、その評価は高く、音楽各賞を受賞している。一方で戦国時代にヨーロッパから流入したであろう音楽(南蛮音楽)の研究も続けており、その成果としてCD「天正遣欧使節の音楽」リリース、芝居付き演奏会を各地で開催している。著書「歌の心を究むべし」(アルテスパブリッシング)。ホテルオークラ音楽賞、ENEOS音楽賞奨励賞、サントリー音楽賞ほか多数受賞。



中山美紀 (ソプラノ)

神奈川出身。東京藝術大学卒業、同大学院独唱専攻修了。卒業時にアカンサス音楽賞および同声会賞を受賞。国際古楽コンクール(山梨)最高位、スペイン国際音楽コンクール第1位など、数々のコンクールで上位入賞を果たす。初期バロックから古典派にかけての作品を軸に活動し、オペラでは《オルフェオ》ムジカ・プロセルピナ、《ラ・カリスト》表題役、《ジュリオ・チェザレ》クレオパトラ、《リナルド》アルミーダ、《羊飼いの王様》タミーリ役を演じ、いずれも音楽誌や新聞各紙で高く評価された。現在、古楽アンサンブル「アントネッロ」のメンバーとして、多岐にわたる活動を展開している。



中嶋俊晴 (カウンターテナー)

京都市立芸術大学卒業、東京藝術大学大学院修了。ウィーン国立音楽大学リート・オラトリオ専修およびアムステルダム音楽院修士バロック声楽専攻を満場一致の最優秀栄誉賞付にて修了。これまでにソリストとしてウィーン・シュベールティアーデ、ユトレヒト古楽音楽祭、プラハの春音楽祭等にソリストとして招聘される。日本音楽コンクール、ブラームス国際コンクール、国際バティレック現代歌曲コンクール等で入選入賞を果たし歌曲の分野でも高く評価された。文化庁芸術祭新人賞、五島記念文化賞オペラ新人賞等受賞。RMF奨学生、文化庁新進芸術家海外研修員として欧州各地で研鑽を積んだ。桜美林大学声楽専修非常勤講師。



伊藤美恵 (バロックハープ)

英国ギルドホール音楽院大学院古楽科修了。ハープをアンドリュース・ローレンス=キング氏に師事。通奏低音奏者として、キングス・カレッジ聖歌隊、エンシェント室内管弦楽団、ロンドン・ヘンデルフェスティバル、エネスク国際音楽祭に出演。エクス・カシドラのツアーでは、スペイン、ラテンアメリカのプログラムを演奏し、数少ないスパニッシュ・バロックハープ奏者としても活動を広げている。日本では、HFJのヘンデル「サウル」、オード「アレクサンダーの饗宴」(ハープ協奏曲付)、新国立劇場のヘンデル「ジュリオ・チェザレ」、アントネッロ、ラ・フォンテヴェルデの公演に出演。



石川友香理 (オルガン)

東京藝術大学チェンバロ専攻を卒業。修了時にアカンサス音楽賞を受賞。その後文化庁新進芸術家海外研修員として渡仏し、リヨン国立音楽院にて国家演奏家ディプロマを取得。同音楽院の通奏低音・歌唱伴奏科を経て、日本へ帰国。現在はチェンバロ、オルガン、通奏低音奏者として活動している。フランスのバロック音楽に魅了され、更なる魅力発信に努めるべくフランス古楽グループ《On Verra》を結成し、演奏会を展開している。その他古楽アンサンブル《Tribois -とりぼわ-》《La Musica Collana》メンバー。音楽教室「アイゼナハ音楽院」チェンバロ科講師。



立岩潤三 (パーカッション)

中近東のダルブカやフレームドラム、インドのタブラ等多種の打楽器で実際にその国の古典音楽/トラッドを演奏すると共に、その可能性を探るべく古楽、ジャズ/ロック、各種ダンスとのコラボレーション、オペラや現代音楽まで、幅広いジャンルへのアプローチを行っている。またそのスキルを活かした中近東/インド向けシンセのデモ作曲/データ制作も行う。近年モンテヴェルディやラモールのオペラでの打楽器も担当。2023年にはブロードウェイでトニー賞受賞作のミュージカル「パンズ・ヴィジット・迷子の警察音楽隊」の日本上映版の警察音楽隊役として舞台出演/演奏を行う。2023年11月発売の小学館図鑑NEO「音楽」に多数の楽器と演奏録音を提供。

会場/お問い合わせ/チケット取り扱い

安土文芸セミナリヨ

〒521-1321 滋賀県近江八幡市安土町桑実寺777番地
http://www.bungei.or.jp/

【TEL】0748-46-6507 【FAX】0748-46-6510

【E-mail】bungei@bungei.or.jp

お車で越しの場合



名神竜王インターまたは八日市インターより車で約30分(無料駐車場あり)

電車で越しの場合

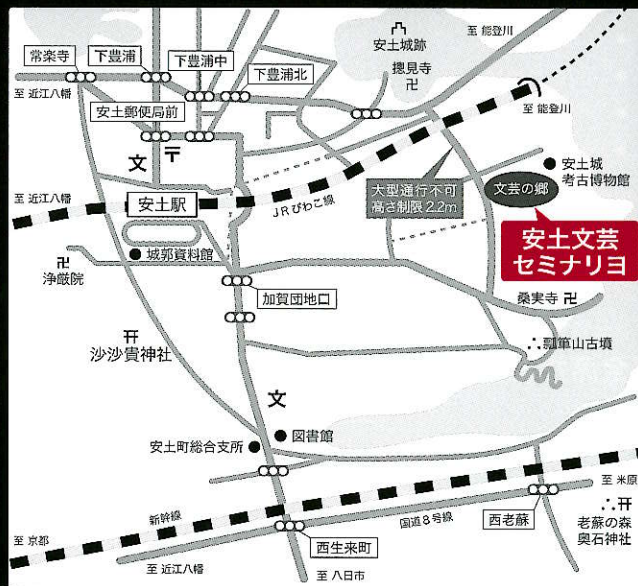


公演当日はJR安土駅から文芸セミナリヨまで無料送迎バスを運行します。

JR安土駅(南口)発・13:30・14:00
セミナリヨ発・終演後



SEMINARIYO_ORG



お食事・ご休憩にどうぞ

文芸の郷レストラン

BUNGEI no SATO RESTAURANT

地場産品を使用した、安土らしさのあるオリジナルメニューを取り揃えています。

